

# 公開実用平成 3-58061

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平3-58061

⑬ Int. Cl.<sup>8</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)6月5日

H 04 M 1/272

7190-5K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 カード読取式自動ダイヤル装置

⑯ 実 願 平1-118491

⑰ 出 願 平1(1989)10月9日

⑱ 考 案 者 東 條 清 丸 山梨県中巨摩郡檜形町曲輪田2554

⑲ 出 願 人 東 條 清 丸 山梨県中巨摩郡檜形町曲輪田2554

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

カード読取式自動ダイヤル装置

### 2. 実用新案登録請求の範囲

#### 1. 下記の構成からなるカード読取式自動ダイヤル装置

- ①電話機、ファックス装置に電話番号およびファックス番号を読取るカード読取部（装置）（1）を設ける。
- ②名刺または専用カードには磁気テープ（シール）か、POSシステムと同様なバーコードを付ける。磁気テープ（シール）、バーコードには電話番号とファックス番号を記録しておく。
- ③電話機、ファックスにおいては演算回路および自動ダイヤル装置（回路）を内蔵させる。②の名刺または専用カードを①のカード読取部（1）に入れ③の自動ダイヤル装置

（ 1 ）

703

実開 3- 53061

(回路) にてダイヤルさせるもの。

### 3. 考案の詳細な説明

#### イ. 産業上の利用分野

民生用、業務用に関係なく電話機およびファックス等の電話回線分野において利用できる自動ダイヤルシステムである。

#### ロ. 従来技術

一般に自動ダイヤルさせるためには一度人間がメモリーにダイヤルを入力させ、S Wを押すことにより数点の番号は自動的にダイヤルさせることが出来る。しかし一度は入力させる必要があり何番のS Wには何々の番号であるかを記載するまたは人間が覚えている必要があった。

#### ハ. 考案が解決しようとする問題点

従来では人間が手動にてダイヤルしていた。また、メモリー機能付きのものも

( 2 )

あるが一度は人間が手作業により入力しなければならなかった。手動であるので桁数が多いと途中で間違いなども発生した。したがって手作業による人間の手間および人間の間違いなどの問題を解決することを目的とする。

## 二．問題点を解決しようとする手段

上記の目的を達成するため本考案を実施例に対応する図を用いて説明するとまず、第3図、第4図、第5図、第6図は電話番号、ファックス番号が記録された磁気テープ（シール）、バーコードが付けられた名刺の裏および専用カードである。また第1図、第2図は電話機、ファックスの正面図である。

電話機、ファックスに磁気テープ、バーコード読取部（装置）（1）および自動ダイヤル回路を設け、磁気テープ（シール）、バーコード内の電話番号、ファック

ス番号を読取部（装置）（1）にて読取らせ、自動ダイヤル装置（回路）にてダイヤルさせる。

ホ．作用

電話機に磁気カード読取装置またはPOSシステムと同様なバーコード読取装置を取付けまたは内蔵させ、名刺の裏または専用カードに磁気テープ（シール）（2）またはバーコード（3）に電話番号およびファックス番号を記録させておき、名刺または専用カードをカード読取部（装置）（1）に入れることにより自動的にダイヤルされる装置およびカードである。

ヘ．実施例

本考案の実施例を図に基いて説明するとファックスにて書類を送る場合において電話、ファックス切替SW（スイッチ）（4）により電話とファックスとの切替

をまずファックスにする。バーコード(3) または磁気テープ(シール)(2) が付けられた名刺、専用カードをカード読取部(1) に入れる。名刺、カードは着脱が簡単に出来るように下部を支えるだけで十分である。また、高度な方法としてはテレホンカードと同じようにカード入出力を自動で行なえるようにすることも出来る。カード読取部(1) で読取られたファックス番号のデータはファックス、電話機内に設けられている演算装置(回路) に送られ演算装置(回路) には自局の市外局番を記録しておき市外局番が自局の市外局番と同じか比較し、同じなら差引き読取った番号を自動ダイヤル装置(回路) に送る。また市外局番が異なる時は、その番号はそのまま自動ダイヤル装置(回路) に送られ、自動ダイヤル装置(回路) にてファックス番号をダイヤルする。

ト．考案の効果

考案の効果としては前記に記載した問題点である人間の手間および人間による間違いなどがなく時間等の短縮でき、ダイヤルするわずらわしさ等を省く効果がある。

4．図面の簡単な説明

第1図は電話番号をバーコード、磁気テープ（シール）より読取るカード読取部（装置）（1）が取り付けられた電話機の正面図、第2図は電話番号、ファックス番号をバーコード、磁気テープ（シール）より読取るカード読取部（装置）（1）が付けられたファックス装置の正面図、第3図は電話番号、ファックス番号が記録されたバーコードが印刷された名刺の背面図、第4図は電話番号、ファックス番号が記録されたバーコードが印刷された専用カードの正面図、第5図は電話番号、ファックス番号が記録された磁気テープ（シール）

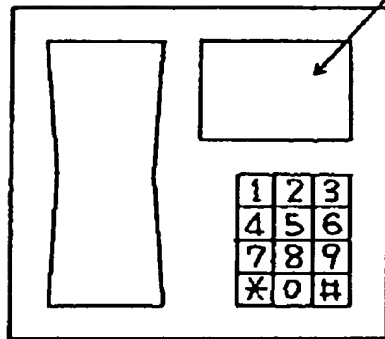
が付いた名刺の背面図、第6図は電話番号、ファックス番号が記録された磁気テープ（シール）が付いた専用カードである。第7図に本考案の信号フローチャートをしめす。

- (1) …カード読取部（装置）
- (2) …磁気テープ（シール）
- (3) …バーコード
- (4) …電話、ファックス切替SW（スイッチ）
- (5) …演算装置（回路）
- (6) …自動ダイヤル装置（回路）

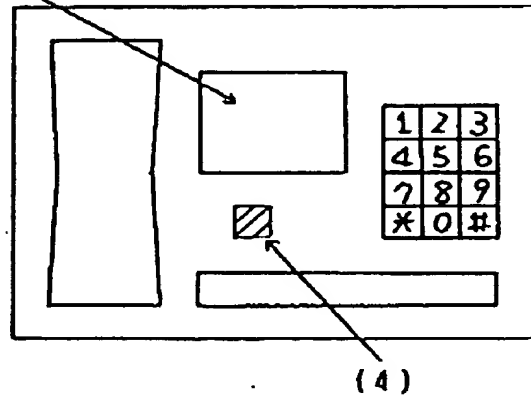
実用新案登録出願人 東条清丸



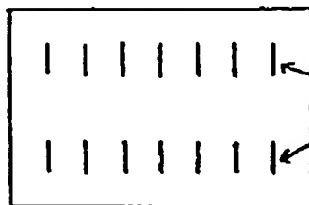
第 1 図



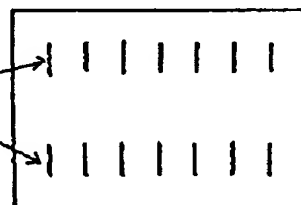
第 2 図



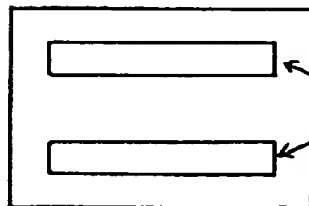
第 3 図



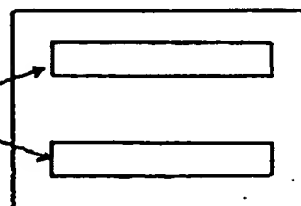
第 4 図



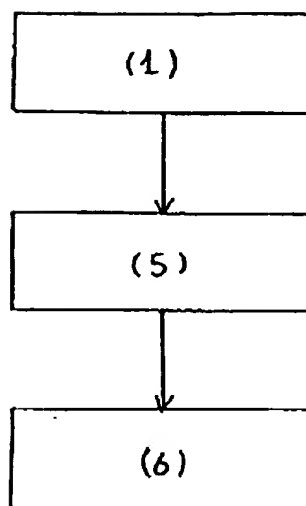
第 5 図



第 6 図



第 7 図



実用新案登録出願人

東条 清丸

711

実開 3- 53061